

## 平成 13 年度企画展

# はがねの変相—金沢健一の仕事

会 期	2002 年 2 月 27 日～4 月 7 日
開催日数	34 日
主 催	川崎市岡本太郎美術館
観 覧 料	一般 700 円、高・大学生 500 円
入場者数	8,809 人
1 日平均	259 人
図 録	B5 変版、94 p、2000 円（税込）
ポスター	B2
チ ラ シ	A4
出品点数	51 点
担 当 者	楠本亜紀、片岡香、山内晶子



展覧会カタログ



### 【開催趣旨】

若々しい感性で制作を続ける作家に焦点を当てたシリーズの第 2 弾として、鉄と形と音をテーマにした作品で注目を集めている彫刻家、金沢健一をとりあげた。楽器以前の原初的な音を体験する参加型の作品「音のかげら」(第 1 回岡本太郎記念現代芸術大賞準大賞受賞作品)ほか、厳密な直線だけで構成されたものや、鉄の表面の変容を表現したものを合わせて展示し、鉄の様々な表情とともに、それらに現れる金沢健一の知性と感性の際立つ世界を紹介した。

### 【主要関連記事】

- ・ 「アトリエ訪問」 『信濃毎日新聞』 2002 年 4 月 2 日
- ・ 「音が生まれ、風景が現われ、巨大空間に広がる鉄三景」『Weekly ぴあ』 2002 年 2 月 25 日号
- ・ 「注目の展覧会から」 池上ちか子 『美術手帖』 2002 年 4 月号
- ・ 「EXHIBITION SPOT 鉄の魅力を作品化」 『ギャラリー』 2002 年 3 月号

### 併催：第 5 回岡本太郎記念現代芸術大賞展(2 月 27 日～4 月 7 日)

[準大賞] 今井紀彰 《On The Earth : ぼくらの故郷》

[優秀賞] ヒグマ春夫 《DIFFERENCE》

[特別賞] 池上恵一 《肩凝リズム》、小原由子 《Did you Say you were lice?》

[入選者] 糸崎公朗、猪鼻秀一、大西康明、尾上正樹、木村俊幸、坂口啓子、佐藤修一、ソガヒロシ、趙採沃、戸田守宣、白前晋、牡丹靖佳、村上章一

**[関連事業]**

**金沢健一パフォーマンス**

会 期 2002年3月2日  
参加数 50名  
内 容 金沢健一によるソロ・パフォーマンス  
場 所 企画展示室  
出演者 金沢健一  
料 金 無料(入館料のみ)



**音をめぐるコラボレーション(パフォーマンス)**

会 期 2002年3月16日  
参加数 70名  
内 容 モンテヴェルディのオペラ「オルフェオ」をもとに構成された音のかけらとソプラノヴォイスによるパフォーマンス。  
場 所 企画展示室  
出演者 金沢健一、伊藤祐二(作曲家)、ト部博子(ソプラノ歌手)  
料 金 無料(入館料のみ)



**ワークショップ 音のかけらを作る**

会 期 2002年3月23日～3月24日  
参加数 10名  
内 容 音のかけらを存分に体験しながら、2日間で自分だけの音のかけらを作る。  
場 所 創作アトリエ  
講 師 金沢健一  
料 金 1000円



**言葉をめぐるコラボレーション**

会 期 2002年3月30日  
参加数 170名  
内 容 現代に今なお鮮烈に響く太郎の言葉を千賀ゆう子が語り、金沢健一と永田砂知子が豊饒な音の世界を「音のかけら」から引き出す試み。言葉と音が展示室の空間を交差するパフォーマンス。  
場 所 企画展示室  
出演者 金沢健一、千賀ゆう子(女優・演出家)、永田砂知子(パーカッショニスト)  
料 金 無料(入館料のみ)



**金沢健一パフォーマンス**

会 期 2002 年 4 月 7 日  
 参 加 数 30 名(母の塔下)、70 名(エントランス)、100 名(企画展示室)  
 内 容 展覧会最終日を飾る金沢健一と永田砂知子のデュオ・パフォーマンス。  
 母の塔の下、エントランスホール、企画展示室で計 3 回行った。  
 場 所 母の塔下、エントランスホール、企画展示室  
 出 演 者 金沢健一、永田砂知子 (パーカッションリスト)  
 料 金 無料(入館料のみ)



**[出展作品リスト]**

No.	作家/作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)
<b>—金沢健一—</b>				
1	音のかけら 9	2001	鉄、ゴム	H25 × φ 4800
2	音のかけら—取り出された 542 の音たち	2000	鉄、ゴム	H9 × 2400 × 1200 × 6 枚
3—12	音のかけら テーブル × 10 点	1998~2000	鉄、ゴム	H732 × φ 620
13	音のかけらテーブル	2001	鉄、ゴム	H723 × φ 930
14	振動態—円 I	2000	鉄、ばね	H770 × φ 900
15	振動態—円 II	2000	鉄、ばね	H770 × φ 1000
16	振動態—円 III	2000	鉄、ばね	H770 × φ 1200
17	振動態—正方形 I	2000	鉄、ばね	H770 × 900 × 900
18	振動態—正方形 III	2000	鉄、ばね	H770 × 1200 × 1200
19—42	鉄と熱の風景 × 24 点	2001	鉄	H300 × 200 × 60
43	2, 3, 4—I	1996	ステンレススチール	H1980 × 200 × 500
44	2, 3, 4—II	1996	ステンレススチール	H1980 × 400 × 300
45	2, 3, 4—III	1996	ステンレススチール	H1980 × 400 × 300
46	2, 3, 4—IV	1996	ステンレススチール	H1980 × 500 × 300
47	2, 3, 4—V	1996	ステンレススチール	H1980 × 800 × 200
48	2, 3, 4—VI	1996	ステンレススチール	H1980 × 800 × 200
49	2, 3, 4—VII	1997	ステンレススチール	H1980 × 400 × 300

平成 13 年度企画展

50	2, 3, 4-Ⅷ	1997	ステンレススチール	H1980×500×300
51	2, 3, 4-Ⅸ	1997	ステンレススチール	H1980×700×300
52	2, 3, 4, 2, 3, 4	1998	ステンレススチール	H2000×600×400
53	1, 3, 5, 3, 1	1996	ステンレススチール	H1980×423×423
54-71	1, 2, 3(18点組)	1998~99	ステンレススチール	H300×150×150

※すべて作家蔵